

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化会館施設整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	04	01	66
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化会館利用者	意図	施設利用者に安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	施設利用者に快適で安全な施設利用を提供するため、施設整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度の耐震補強工事に合わせ、空調設備改修を行った、施設の老朽化が進む中、平成24年度に給水管切替工事、平成25年度に屋上防水工事を行った。平成28年度は、受変電設備更新工事を行い、安全で快適な施設環境を整備した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	市民会館施設利用件数の増減率		5.20	-6.10	%
②	市民会館施設利用者数の増減率		1.40	-8.90	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	文化会館は昭和44年に開館した施設であるため、給水管切替工事や屋上防水工事を行ってきた。平成28年度には、受変電設備更新工事を行い、安全で快適な施設環境を整備した。		

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			53,105,140
事業費(b)(円)			51,594,840
うち一般財源			51,594,840
職員給与費(c)(円)			1,510,300
人役・職員(人)			0.22
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	昭和44年開設以降、更新していない受変電設備の更新工事を行う。	③取組の課題	施設の老朽化しているため、計画に位置づけて整備を進めることが大切であるが。
②今年度(H28)に実施した取組	工事期間中は、ホール側は約1ヶ月閉館したが、公民館側の会議室等は開館し、利用者への通常利用に供した。	④今後の改善計画	早急に舞台床の改修工事、楽屋改修工事などを実施する。